

## 成果の説明書

(氏名)西沢淳男	(学部)地域政策学部
<b>1 重要事項</b> <p><b>研究として</b>、前年度から引き続き東京大学史料編纂所に所蔵されている「代官竹垣直道日記」の翻刻作業である。日記は古代・中世史研究においてはよく利用されるものであるが、近世史研究においても近年利用が活発になってきている。日記には公務は勿論、その時代の生活・文化・風俗や各種通達の写しなど多岐にわたっており、史料翻刻は学会の共有財産として広く活用されていくべきものとして、翻刻の掲載と公開をはじめた。日記は文字が難解な上に紙幅の都合で、学内学会機関誌(『地域政策研究』)に嘉永7年7月から9月分(1冊の内半分)の翻刻を発表した。</p> <p>この「竹垣日記」を利用して、ほとんど先行研究のない老中首座阿部正弘が主宰して武備高揚のための乗馬奨励策から行っていた遠馬について「幕末期における幕閣の遠馬について」と題する論考を『地域政策研究』に発表した。</p> <p>令和2年度高崎経済大学研究奨励費(学術研究図書刊行)により刊行した『飛騨郡代豊田友直在勤日記2』が任地の高山から江戸へ戻った直後の3月1日で終わっているため、その後任が決まり飛騨郡代としての役割を終えるまでは一貫したものとして翻刻しておく必要があると考え、「飛騨郡代豊田友直在勤日記補遺」を『地域政策研究』に翻刻公開した。</p> <p>関東近世史研究会からの依頼で、関東近世史研究会創立60周年記念号の特集「関東近世史へのいざない」へ関東近世史の歩みと代官に関する研究史・展望をまとめて整理した「代官支配と関東近世史研究」を寄稿した。</p> <p><b>地域貢献として</b>、川口市教育委員会協力の下、西沢ゼミナールが川口市の歴史を生かしたまちづくりのため、埼玉県旧跡である赤山城址(赤山陣屋)を散策するためのデジタルMAPを開発した。江戸時代の陣屋絵図面と現代の地図・衛星写真の切替が出来、スマホを見ながら絵図面上を歩け、文化財の写真・解説、見どころも確認したり、リンクで詳細を確認することも出来るものである。</p> <p><b>社会貢献として</b>、埼玉県川口市の文化財保護審議会委員及び川口市遺跡調査会理事として、市の文化財保護行政について助言・指導をし、埋蔵文化財調査について指導・監督した。</p>	
<b>2 その他の事項</b>	
<b>3 次年度以降の計画・抱負</b> <p>昨年度から引き続き同時代期の幕臣(代官)日記の比較検討のため、翻刻成果公開中である「代官竹垣直道日記」と併行して、本学研究助成金により昨年度刊行終了した『飛騨郡代豊田友直在勤日記』全2冊の分析を行い、同時代の親子・交遊関係者らの幕臣日記を、並列的に比較・分析し、地方文書からではみえてこない幕臣・江戸時代人の心性を明らかにしていきたい。</p>	